

# 令和元年度 事業報告

平成から令和へと時代が変化した中で、本会では社会福祉協議会の共通理念である『だれもが安心して暮らせるまちづくり』を目指し、地域福祉事業や介護保険事業等の実施に努めた。

住民参加による地域福祉を推進する26地区協議会に対しては、ふれあいサロン活動への助成やレクリエーション、立ち上げ・継続に係る相談等の支援に努めるとともに、地区協議会連絡会や研修会を開催するなど、活動や事業実施への支援を行った。

また、4年目となった「福島市地域福祉活動計画 2016」に基づく活動推進と併せ、令和3年度からの推進期間となる「福島市地域福祉活動計画 2021」策定に向け、福島市と協働して26地区協議会との懇談会を実施した。

子育て支援事業として取り組んでいる「おもちゃ広場」の運営は、開設から8年間で利用者数が約23万人を数え、子供の遊び場の提供とともに子育て世代の母親たちの交流の場となっている。

障がい児・者の余暇活動支援事業では、外出の機会の少ない障がい児等を対象に、「クリスマス会」や「もちつき大会」等の交流事業を開催し、障がい児・者の社会参加の促進と市民の障がい者に対する理解を図った。

ボランティアセンターにおいては、市民のボランティア活動への参加を促進するために、活動相談やコーディネート業務を行ったほか、中学・高校生等を対象とした「サマーショートボランティアスクール」などを開催し、地域福祉活動の担い手の育成に取り組んだ。

また、「第32回ふれあい広場」を開催し、盲導犬歩行体験、車いす体験や点字体験及び障がい者施設製品の展示即売、民生児童委員の活動紹介などを通して、市民の福祉に対する理解と協力の啓発活動を行った。

地域における権利擁護の推進として、認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、情報提供や福祉サービスの利用援助及び日常的な金銭管理サービスを行った。また、法人後見事業では、判断能力が不十分な6名に対し、家庭裁判所の監督のもと財産管理、身上保護などの支援を行った。

東日本大震災から8年が経過したが、避難者支援として、個別訪問による生活相談や安否確認を行うとともに、孤立を防ぐための交流事業や健康づくり事業を実施した。

介護保険事業の経営では、年々深刻化している福祉人材不足や利用者の利用サービスの多様化、あるいは利用者の施設入所などにより利用者の減少傾向が続いている。特に、訪問介護事業においては、非常勤ヘルパーの離職や利用者のサービス利用時間・内容の変化等によるサービス提供量の減少が進み、厳しい状況となっている。

なお、職員の安定した雇用確保を図るため、介護職に従事する職員に対しては、加算制度を活用した処遇改善手当を支給するなど、引き続き職員の処遇改善に取り組んだ。

令和元年度から5年度までの指定管理者として福島市より指定を受け、身体障がい者福祉センター腰の浜会館、飯野地域福祉センター、中央デイサービスセンター及び飯野デイサービスセンターの適正な施設管理運営を行い、利用者の福祉増進に供した。

# 令和元年度 総務課事業報告

## ■総務係

### 【事業実施の概要】

- 1 理事会、評議員会について、理事会は書面決議を含め5回開催、評議員会は書面決議を含め3回開催した。また、評議員選任・解任委員会を2回開催し、6名の評議員を選任した。
- 2 会費の状況について、一般会員会費・特別会員会費・法人会員会費いずれも前年度より減少となったが、2口以上納入の法人会員についてはホームページへのバナー広告掲載を行う旨案内をしたところ、4社より前年度より多い複数口の納入をいただいた。
- 3 寄付金については、前年度は100万円を超える大口寄付が5件あったが、元年度は大口寄付が1件にとどまったため大きく減額となった。

### 1. 役員会運営事業

本会運営にかかる重要事項等審議のため、理事会、評議員会を開催するとともに、本会の業務執行状況や経理執行状況、財産状況等に係る監査会を実施した。

また、評議員の選任のため評議員選任・解任委員会を開催した。

#### (1) 理事会

- ・令和元年5月28日 第1回理事会  
平成30年度事業報告及び決算報告、令和元年度補正予算、介護保険サービス事業安定化基金の取り崩しについて ほか
- ・令和元年6月17日 第2回理事会  
会長、副会長及び常務理事の選定について
- ・令和元年7月8日 第3回理事会（書面決議）  
評議員候補者の推薦、第1回評議員選任・解任委員会の開催について
- ・令和2年1月24日 第4回理事会  
就業規則の一部改正、評議員候補者の推薦、第2次補正予算について ほか
- ・令和2年3月16日 第5回理事会  
第3次補正予算、就業規則の一部改正、評議員及び役員の報酬に関する規程の一部改正、令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について ほか

#### (2) 評議員会

- ・令和元年6月17日 第1回評議員会  
平成30年度事業報告及び決算報告、令和元年度補正予算、介護保険サービス事業安定化基金の取り崩し、理事・監事の選任について ほか
- ・令和2年2月6日 第2回評議員会  
第2次補正予算、理事の選任について
- ・令和2年3月24日 第3回評議員会（書面決議）  
第3次補正予算、評議員及び役員の報酬に関する規程の一部改正、令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について

### (3) 監査会

- ・令和元年5月21日 平成30年度事業、決算に関する監査
- ・令和元年11月27日 令和元年度4月～9月の事業及び会計の中間監査

## 2. 事務局運営事業

### (1) 会費及び寄付金の状況

項 目	内 容	
一 般 会 費	26,773,620円	89,245世帯
特 別 会 費	11,842,000円	11,842口
法 人 会 員 費	3,560,000円	316法人 356口
共 同 募 金	26,682,262円	○一般配分金 16,351,958円 ○特別配分金 2,450,000円 ○歳末助け合い配分金 7,880,304円
寄 付 金	9,885,847円	一般寄付 36件 4,840,604円 指定寄付160件 5,045,243円

### (2) 福祉サービス苦情解決実施状況

本会が提供する福祉サービス、利用者からの苦情に適切に対応することにより個人の権利を擁護し、安心して質の高いサービスが利用できるよう支援するとともに、苦情の社会性や客観性に鑑み、円滑・円満な解決を促進し、本会の信頼性や適正性の確保を図るため、苦情解決を行った。

#### 《苦情の内容と解決方法》

- ・内 容 職員の態度に関する事項 1件
- ・解決方法 苦情申出人に謝罪し解決 1件

## 3. 広報啓発事業

市政だより折込の福祉たよりの発行やホームページの活用などにより、本会実施事業や地区協議会活動状況等の情報発信に努めた。

- ・福祉たより発行 5月号(第171号)、8月号(第172号)、10月号(第173号)、1月号(第174号)

## 4. 地域福祉推進事業

(1) 地区協議会活動支援及びサロン活動支援のための助成を行った。

(2) 福祉人材センターの活用方法や福祉人材の確保を行うため、広報啓発事業を行った。

【福島県社会福祉協議会受託事業】

(3) 実習生の受け入れ

将来の地域福祉の担い手たる社会福祉士及び社会福祉主事の養成のため、相談援助技術等を学ぶ場の提供を行なった。

- ・東北福祉大学など 4校 実習人数 12名

## 5. 福祉バス運行事業 【福島市補助事業】

福祉向上を目的とした施設利用や視察研修等に福祉バスの運行を行った。

運行実績 利用団体 126団体(延べ) 利用人数 2,049名

## 6. ボランティア基金の造成

寄付額	210,000円	
利息	36,076円	
基金取崩額	1,500,000円	(基金総額 211,635,770円)

## 7. 歳末たすけあい配分金事業

歳末たすけあい募金の配分金を受け各種事業を行った。

### (1) 歳末たすけあい助成事業

各地区社会福祉協議会、各方部民生児童委員協議会で行う年末年始の地域福祉活動へ助成

17 地区協議会、4 方部民生児童委員協議会 1,582,000 円

### (2) 母子生活支援施設入居者（敬香ハイム）への義援金贈呈

17 世帯 255,000 円

### (3) 養護施設入所児童・生徒（福島愛育園・青葉学園・アイリス学園）へのお年玉贈呈

163 名（高校生 44 人 中学生 43 人 小学生 59 人 未就学児 17 人） 1,090,000 円

### (4) 地域活動支援センターⅢ型への義援金贈呈

8 団体 400,000 円

### (5) 地域保育所、民間の認可保育所への遊具整備費贈呈

86 保育所 2,083,800 円

### (6) 成人式（福島市手をつなぐ親の会） 新成人へのお祝い品（記念写真）贈呈

期 日 令和2年1月12日（日）

会 場 福島グリーンパレス

参加者数 42 名

### (7) 心身障害者児・者クリスマス大会 参加者へのお菓子福袋贈呈

期 日 令和元年12月21日（土）

会 場 福島市吾妻学習センター

参加者数 447名（うち ボランティア 39名）

### (8) 障がい児余暇支援「もちつき大会」の開催

期 日 令和2年1月18日（土）

会 場 ウエディングエルティ

参加者数 135名（うち ボランティア34名）

### (9) 子育て支援事業「親子ふれあい劇場」の開催

期 日 令和元年12月14日（土）

会 場 おもちゃ広場

参加者数 123名

## ■地域福祉係

### 【事業実施の概要】

- 1 「地域福祉活動計画2016」に基づき、住民参加により地域福祉を推進する26地区協議会活動の充実を図るために地区協議会連絡会及び研修会を開催し、さらに地域ニーズに即した活動が展開出来るよう各地区協議会への支援強化に努めた。
- 2 高齢者や子育て中の親子が集えるサロンに助成金を交付し活動支援を行った。(24協議会・助成サロン数 126サロン) また、ふれあいサロン活動支援として各サロンにおいて、レクリエーション等支援のほか、立ち上げ・継続に係る相談業務を行った。(支援サロン数28サロン・支援回数50回)
- 3 地域福祉推進の担い手となるボランティアを養成することを目的に、サマーショートボランティアスクールなど3講座を開催した。(参加者 延べ240人)
- 4 東日本大震災に伴い、他市町村住民が福島市内に避難している現状がある。新たな生活環境は大きな精神的ストレスとなっていることから、福島市内で避難生活を送る方への憩いの場の提供と、住民同士の交流や情報交換、仲間づくり、生きがいづくり、避難者への生活相談支援を目的とした「ホッとサロン『てとて』」及び「リフレッシュツアー」等を定期的で開催した。(延べ開催回数7回、延べ参加人数204名)

### 1. 共同募金配分金事業

#### (1) 地区協議会活動の支援・地域福祉基盤強化事業

##### ①地域活動支援センター及び親の会等の支援(助成金の交付)

- ・障がい者支援団体等への運営費補助 540,000円 (18団体)
- ・福島市民生児童委員協議会 500,000円
- ・福島市ボランティア連絡協議会 300,000円
- ・福島市母子寡婦福祉会 70,000円
- ・ボランティアサークルチャチャチャ♪ 50,000円

##### ②地区協議会研修会(地域ささえ合いネットワーク研修会)の開催

地域福祉の中核として「住民主体の福祉コミュニティづくり」を進め、「誰もが安心して暮らせる地域社会」を実現するため、また、地域住民や各関係機関・団体と地域課題を共有し、その解決に向け連携・協働による事業を計画的に進めていくため、その基盤となる地区協議会の実践活動事例を学ぶことを目的に開催した。

期 日 令和元年7月25日(木)

会 場 ウエディング エルティ

内 容 講演:「子どもの居場所づくりについて

～なぜ地域での子育てが必要なのか～」

講師:特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

理事長 若月 ちよ 氏

参加者数 93名

##### ③共同募金等に対する助成金の交付

26地区協議会 3,510,586円

④地区協議会活動及びサロン活動の支援

(ア) 地区協議会総会等への出席

地区協議会数 8 地区協議会

(イ) 地区協議会等支援（地区協議会の圏域見直しに係る打合せ含む）

地区協議会数 4 地区協議会

支援件数 10件

（内訳：昼食会・視察・研修会・講演会・サロン連絡会・その他）

(ウ) 地区協議会事務担当者会議

期 日 令和元年6月26日（水）

会 場 福島市保健福祉センター4階 第一保健指導室

出 席 24地区協議会

⑤地区協議会連絡会

各地区協議会との情報共有、連絡調整及び意見交換を行い、地域福祉活動の効果的な推進を図ることを目的に設置した。

(ア) 期 日 令和元年7月25日（木）

会 場 ウエディングエルティ

参 加 24地区協議会

(イ) 期 日 令和2年2月17日（月）

会 場 福島市保健福祉センター5階大会議室

参 加 23地区協議会

⑥ふれあいサロン運営助成事業

ふれあいサロンを開催するグループに対し、1,864,500円の助成金を交付して支援を行った。（24協議会の126サロン）

⑦ふれあいサロン活動支援

各サロンにおいて、レクリエーション等支援の他、立ち上げ・継続に係る相談業務を行った。（支援サロン数 28サロン 支援回数 50回）

⑧ふれあいサロン・社協行事傷害補償（傷害保険）加入手続き

ふれあい（いきいき）サロン活動を安心して行えるよう傷害保険への加入を勧め、加入手続きの支援を行った。（加入手続き件数 129件 加入人数 3,040名）

⑨「社会福祉法人の地域における公益的な取組」推進モデル事業

福島市内にある社会福祉法人が分野（児童・高齢・障がい等）を超えて連携し、地域課題の共有や情報交換・協議を行う場を創出することにより、公益的な取組のさらなる推進、担当職員の人材育成を目的に学習会を開催した。

(ア) 期 日 令和元年5月30日（木）

会 場 福島市保健福祉センター4F第1保健指導室

参加者人数 10名

(イ) 期 日 令和2年2月21日（金）

会 場 福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館 1階会議室

参加者人数 11名

(2) 地域福祉活動の啓発

各種事業や地区協議会活動、福祉に関する情報提供を広報誌やホームページ等を通じて発信した。

(3) 障がい児者の余暇活動支援事業

①第45回おひさまといっしょに

期 日 令和元年9月29日(日)  
会 場 児童公園  
参加者数 227名(うち ボランティア 31名)

②第48回障がい児クリスマス会

期 日 令和元年12月21日(土)  
会 場 福島市吾妻学習センター多目的ホール  
参加者数 447名(うち ボランティア 39名)

③もちつき大会

期 日 令和2年1月18日(土)  
会 場 ウエディングエルティ  
参加者数 135名(うち ボランティア 34名)

(4) 福祉教育推進事業

①児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施

福島市内の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒に対し、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯への精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭や地域社会での福祉に対する意識の啓発を図ることを目的に「ボランティア協力校」8校を指定した(助成金交付)。

【ボランティア協力校(指定校)】

福島市立清明小学校 ・ 福島市立南向台小学校 ・ 福島市立佐原小学校  
福島市立大笹生小学校 ・ 福島市立佐倉小学校 ・ 福島市立杉妻小学校  
福島市立福島第一小学校 ・ 福島市立飯野中学校

②福祉教育等学習支援

将来の地域を担う子どもたちの成長の一助となるよう、学校でのボランティア・地域活動や総合学習の時間への支援(体験や講話など)を行った。

学校数	回数	人数
10	25	661

(5) 子育て支援事業

①子育て支援事業

(ア) ママフェス

開催回数 1回 参加者数 200名

(イ) ふくしまおもちゃクリニック立ち上げ準備会・活動

開催回数 1回 参加者数 12名

(ウ) 「子育て・健康相談会」、「おもちゃ相談会」等

開催回数 2回 来場者延べ数 155名

(6) ボランティアセンター運営事業

① ボランティア等相談業務

ボランティアに関する活動相談、派遣依頼相談、それに伴うコーディネート業務、及びボランティア活動保険等の加入手続きを行った。

相談対応件数 1,283件

ボランティア活動保険等加入手続き件数(延べ件数) 741件

(内訳)	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス補償
	576件	148件	13件	4件

※ボランティア活動保険の内訳 個人 298件 団体 278件(6,494名)

② ボランティア活動保険助成事業

福島市内居住で、ボランティア活動保険に加入した者に対し1人100円の助成を行った。

助成合計金額 386,000円

③ 第32回「ふれあい広場」の開催

地域に根ざした福祉活動の推進に向け、市民の福祉に対する理解と協力をいただくことを目的に開催した。

期 日 令和元年9月16日(月・祝)

会 場 イオン福島駐車場

内 容 障がい者施設製品展示即売、福祉体験コーナー  
盲導犬(PR犬)による実演、点字しおり等作成  
障がい者スポーツボッチャ 他

④ ボランティア養成講座の開催

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域の福祉的なニーズに対し、住民同士で助け合い、お互いに支えあえる地域づくりのために、地域福祉推進の担い手となるボランティアを養成することを目的に開催した。

(ア) 救命講座

(イ) サマーショートボランティアスクール

令和元年7月15日(月・祝)～令和元年8月17日(土) 受入施設33施設

(ウ) 男性のための料理教室

計 開催回数 8回 参加者数 100名(延べ参加者数240名)

2. 民生児童委員活動の支援

福島市民生児童委員協議会の事務局として、各種事業および各部会活動など、民生委員・児童委員活動の支援を行った。

(1) 福島市民生委員・児童委員研修会の開催【福島市受託事業】

期 日 令和元年11月19日(火)

会 場 ウエディング エルティ

内 容 講演:「災害を生き抜く備え」 ほか

講師: NPO法人 日本防災士会 常任理事 藁谷俊史氏 ほか

参加人数 520名



(2) 新任民生委員児童委員研修会の開催【福島市受託事業】

期 日 令和2年1月31日(金)  
会 場 ウェディング エルティ  
内 容 講演:「コミュニケーション(傾聴)についてよい聴き手になるために」ほか  
講師:福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
臨床心理士 桃井真帆氏 ほか  
参加人数 133名

3. おもちゃ広場運営事業

(1) おもちゃ広場

開 催 日 毎週月曜日から土曜日(祝祭日を除く)  
時 間 10:00~15:00  
会 場 福島市保健福祉センター6階展望ロビー  
内 容 室内に大型遊具等を設置し、子ども達に遊び場を提供した。

【来場者数】

単位:人

	子ども	保護者	団 体	ボランティア	総 計
計	12,831	11,451	27	107	24,416

4. 地域ささえ合いネットワーク事業 【福島市受託事業】

町内会等(サロン)単位に見守りネットワークを構築し、地域の中で見守りを要する高齢者世帯を訪問する等、見守り活動を実施した。

また、地域住民同士での見守り訪問を基盤として、町内会や民生委員、地域包括支援センター及び社会福祉協議会等の情報の共有及び連携・協力体制の構築に努めた。

さらには、見守り活動の導入として「住民の支え合いマップ」の作成を行った。

(1) モデル地区サロン

第四地区「つばきサロン」 第五地区「いきいきサロンやつるぎ」  
蓬萊地区「桜台健康教室」 鎌田地区「マイタウンおやまごし」

(2) 事業実施内容

①地域ささえ合いネットワーク研修会(地区協議会研修会)の開催 (再掲)

期 日 令和元年7月25日(木)  
会 場 ウェディング エルティ  
内 容 講演:「子どもの居場所づくりについて~なぜ地域での子育てが必要なのか~」  
講師:特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 理事長 若月ちよ氏  
参加者数 93名

②団体等支援

立ち上げ・継続相談支援 延べ50件

### ③子どもの居場所づくり支援

・吉井田キッチン（吉井田）	支援回数	1回
・蓬萊子どもの部屋「虹」（蓬萊）	支援回数	3回
・子どもカフェたまご（信夫）	支援回数	4回
・北信カルバリーみんなのキッチン	支援回数	4回
・エリアミーティング	開催回数	2回
・子どもの居場所づくり説明会・講演会	出席回数	4回

## 5. 生活福祉資金貸付事業【福島県社会福祉協議会受託事業】

低所得世帯の自立更生のため、民生児童委員の協力により生活福祉資金の貸付等相談及び生活援助資金の貸付を行った。

### (1) 貸付等相談業務（『5. 生活援助資金貸付事業』相談業務含む）

相談対応件数（延べ件数）	1,522件
相談時間	385時間55分
（1件当たり 平均相談時間	約15分
相談時間1時間以上	43件
相談時間2時間以上	6件）

### (2) 貸付の状況

#### ①生活福祉資金

貸付決定件数	19件	貸付決定金額	9,578,000円
貸付種別	・緊急小口資金	6件	
	・教育支援資金	2件	
	・福祉費	2件	
	・特例緊急小口資金	8件	
	・要保護世帯向け不動産担保型	1件	

## 6. 生活援助資金貸付事業

### (1) 貸付の状況

貸付件数	21件	貸付金	370,000円
------	-----	-----	----------

## 7. 東日本大震災に伴う避難者支援【福島県社会福祉協議会受託事業】

### (1) ホットサロン「てとて」の開催

福島市内のみなし仮設住宅（民間借り上げ住宅）等で避難生活を送る方へ憩いの場を提供し、住民同士の交流や情報交換等、避難者への生活相談支援を目的に開催した。

開催回数	11回	延べ参加人数	308名
------	-----	--------	------

### (2) 個別支援

生活支援相談員9名を配置し、本市内への避難者に対し生活支援並びに避難元社会福祉協議会の支援を行った。

#### ①相談対応数

相談・対応件数	1,365件
相談・対応時間	901時間5分（1件当たり相談・対応時間 約40分）

②応急仮設住宅等入居者支援

訪問件数 2,115件

(内訳) 相談・見守り等 4件  
様子伺い 893件  
留守 1,218件

(3) リフレッシュツアー及び健康生きがいつくり事業開催【「台湾友好基金」助成事業】

①ホッとサロン「てとて」リフレッシュツアー

福島市内のみなし仮設住宅（民間借り上げ住宅）等で避難生活を送る住民同士の交流や情報交換、仲間づくり及び心身のリフレッシュを図ることを目的に開催した。

開催回数 3回 参加延べ人数 102名

②避難者健康生きがいつくり事業

東日本大震災における福島県沿岸部の津波及び原発事故からの避難者の閉じこもりを防ぐとともに、ウォーキングを通し、健康づくりにつなげることが出来ることを目的に開催した。

開催回数 2回 参加延べ人数 45名

8. 第13回福島市社会福祉大会

これまで多年にわたり社会福祉事業の発展に功労のあった方々に感謝とともに、今後、住民総参加による「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の構築に向けて、地域住民、関係機関・団体が連携を強化し、本市のさらなる地域福祉の充実・発展を目指し開催した。

期 日 令和元年11月13日（水）

会 場 とうほう・みんなの文化センター 大ホール

参加者数 421名

内 容 記念講演：「認知症も怖くない・グルメリポーターの  
役に立つ食の話とカンタン健康法」

講 師：菊田 あや子 氏

式 典：表彰状及び感謝状の贈呈

・福島市長感謝状 149名

・大会会長表彰状・感謝状 218名、26団体

9. 災害ボランティアセンター運営

台風19号に伴う災害に際し、福島市との「災害時における災害ボランティアセンターの設置及び運営の協力に関する協定書」に基づき、令和元年10月15日から11月10日までの27日間開設した。

ボランティア活動状況

ボランティア登録者数 465名

延べ活動人数 760名

延べ活動件数 120件

## ■生活支援係

### 【事業実施の概要】

- 1 権利擁護センターでは、市民が生涯にわたり自分らしく安心して生活できるよう、権利擁護支援手段として主に成年後見制度の利用を促進するため、市民や支援関係者を対象にした制度の普及と啓発及び研修の実施、本人や家族、支援関係者を対象にした制度や権利擁護全般に関する相談支援に取り組んだ。また、今後の制度利用の需要に対応していくための担い手の確保を図るため、市民後見人バンクの運営及び市民後見人の養成、受任後の適切な後見事務の支援を行った。
- 2 日常生活自立支援事業は相談援助件数が増加傾向にあり、権利擁護センター等の福祉関係機関・団体との連携強化を図り、サービス利用者の支援を行った。
- 3 法人後見事業は平成29年度より実施しており、判断能力が不十分な人の保護・支援を行った。  
(受任件数 後見5件、保佐2件、補助1件) ※内終了2件

### 1. 福島市権利擁護センター運営事業 【福島市受託事業】

#### (1) 成年後見制度や権利擁護全般に関する相談業務

高齢者・障がい者を主な対象に、年齢を問わず本人や家族・関係者等から、成年後見制度の利用及び権利擁護を目的にした生活の困りごとに関する相談を受け付け、制度利用や専門相談等が必要な場合には、それらを適切に利用できるよう情報提供や、関係機関・専門職と連携して必要な助言及び調整を図った。

対応件数 延べ545件（うち新規相談対応件数183件）

対応時間 252時間55分

#### (2) 権利擁護及び成年後見制度の普及・啓発

成年後見制度や権利擁護関連制度・サービス及び権利擁護センターを広く市民に広報し、成年後見制度の利用促進と権利擁護支援の充実を図るため、研修の実施、チラシの作成や配布、その他各種広報媒体をとおして啓発に努めた。

##### ・出前講座

開催回数 5回

参加者数 延べ210名

##### ・権利擁護セミナー

開催回数 1回

参加者数 92名

#### (3) 市民後見人の人材育成及び市民後見人バンクの設置・運営

身近な市民の立場を生かした社会貢献型の成年後見活動で判断能力が十分でない方の生活を支えていく「市民後見人」を養成し、また後見受任後の活動を支援した。

##### ①市民後見人養成講座（フォローアップ研修）の開催

開催回数 4回

会場 福島市保健福祉センター

受講者数 延べ46名

##### ②市民後見人バンク登録者研修会

開催回数 4回

参加人数 延べ28名

③市民後見人の活動支援

- ・受任直後の支援（受任～概ね3ヵ月） 17回
- ・受任後の継続支援 4回
- ・市民後見人損害賠償保険、傷害保険の加入 2名
- ・市民後見人受任者研修会 2回
- ・市民後見人受任者懇談会 1回

④市民後見人バンク登録者名簿の管理

- 市民後見人バンク登録者 18名（新規登録7名）
- うち市民後見人受任者 2名（新規受任1名）

2. 日常生活自立支援事業（愛称「あんしんサポート」）【福島県社会福祉協議会受託事業】

認知症高齢者や知的障がい者等、判断能力の不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス等を提供し支援を行った。

【契約者数（利用者数）】

（単位：人）

類 型	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
契約者数	35	11	15	4	65

新規契約者数 12人（累計 206人）

解約者数 11人（累計 141人）

相談援助件数 延べ2,570件

相談時間 2,932時間

3. 法人後見事業

本会が成年後見人、保佐人もしくは補助人（以下、「成年後見人等」）になり、ご親族や専門職等が個人で成年後見人等に就任した場合と同様に、判断能力が不十分な人の保護・支援を行った。

【受任件数】

類 型	後見	保佐	補助	合 計
受任件数	4	2	0	6

元年度受任件数 4件（後見 2件 保佐 2件） 累計 8件

元年度終了件数 0件

累計 2件

## ■指定相談支援事業所

### 【事業実施の概要】

在宅身体障がい者の自立支援に向けた相談に対し、相談支援専門員及びピアカウンセラーが各種サービス提供事業所及び関係機関等との連携を図りながら支援を行った。

### 1. 市町村障がい者相談支援事業【福島市受託事業】

(1) 在宅障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、各種支援を行なった。

- 生活相談支援 ○ピアカウンセリング等の支援 ○計画相談支援
- 福祉サービス利用援助及び情報提供 ○障害支援区分認定調査

#### ①相談支援を利用した障害者等の人数

項目	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	41	40	0	0	0	1	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	41	40	0	0	0	1	0	0

#### ②支援方法

項目	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	ピアカウンセリング	その他	計
件数	15	7	1	86	0	0	1	0	110

#### ③支援内容

項目	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	61	0	24	44	0	4	2	2	7

項目	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	3	3	0	150

#### ④連絡調整

項目	サービス事業所	就労関係	他相談支援事業所	地域包括ケアマネ	医療機関 訪問看護	民生委員	行政機関	その他	計
件数	11	0	9	4	10	1	15	1	51

#### ⑤障害支援区分認定調査

項目	福島市
件数	120件

#### ⑥計画相談支援

項目	福島市	桑折町	計
件数	12件	1件	13件

# 令和元年度 在宅福祉課事業報告

## ■事業係

- ①介護保険事業実績管理                      ②介護報酬請求事務                      ③利用料請求事務  
 ④非常勤職員賃金支払業務                      ⑤介護職員処遇改善加算に関する業務                      ⑥職員の研修に関する業務  
 ⑦実習生の受入れ(別表)  
 (別表)

実習内容	人数	学校名
教員免許取得のための介護等体験	55	福島大学 53名、日本大学工学部 1名、 医療創生大学 1名
介護福祉士等資格取得のための実習	3	福島介護福祉専門学校 2名 国際医療看護福祉大学校 1名
福祉・介護の職場体験	6	一般・社会人 6名
計	64	

## ■ホームヘルプサービスセンター

### 【事業実施の概要】

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介助、その他生活全般にわたる援助を行った。

非常勤職員の減(前年度月平均49.3名)とともに、実利用者数月平均203.5名(前年度:同231.2名)、年間延べ利用者数28,908名(前年度:同33,182名)の実績となった。

### 1.訪問介護事業(介護予防訪問介護事業・総合事業を含む)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	2,604	2,678	2,479	2,681	2,445	2,369	2,543	2,392	2,231	2,163	2,044	2,279	28,908
実利用者合計	218	215	214	214	208	203	201	202	194	195	189	189	月平均 203.5
1人当たり 月平均利用回数	11.9	12.5	11.6	12.5	11.8	11.7	12.7	11.8	11.5	11.1	10.8	12.1	月平均 11.8
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366.0
一日あたり	87	86	83	86	79	79	82	80	72	70	70	74	月平均 79.0
契約者数	233	231	231	229	229	224	225	220	217	212	208	207	月平均 222.2
職員数 常勤	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	月平均 12.0
職員数 非常勤	47	46	46	46	46	45	45	45	45	45	45	45	月平均 45.5
合計	59	58	58	58	58	57	57	57	57	57	57	57	月平均 57.5
ヘルパー1人当 たり稼働件数	44.1	46.2	42.7	46.2	42.2	41.6	44.6	42.0	39.1	37.9	35.9	40.0	月平均 41.9

## ■中央デイサービスセンター

### 【事業実施の概要】

利用者の閉じこもりの予防及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の援助や介護、機能訓練等を行った。また、認知症の軽減、障がい者の自立促進、生活の質の向上、身体機能の維持向上等を図ることができるよう、必要な日常生活上の介護及びその他必要な援助を行った。

実利用者数月平均100名、年間延べ利用者数8,873名の実績で、昨年度と比べて実利用者数月平均は同じだったが、延べ利用者数は785名の増加、稼働率は6.5%の増加となった。

#### 1. 通所介護事業(介護予防通所介護事業・総合事業を含む)(一般型:定員30名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	599	657	565	643	614	595	593	622	591	569	573	574	7,195
実利用人数	86	84	85	86	83	82	84	84	84	85	83	78	月平均 83.7
1人あたり 月平均利用回数	7.0	7.8	6.6	7.5	7.4	7.3	7.1	7.4	7.0	6.7	6.9	7.4	月平均 7.2
契約者数	100	97	98	96	94	95	92	90	93	97	97	95	月平均 95.3
稼働日数	26	27	24	26	27	25	25	26	24	23	25	26	304
1日あたり 利用者	23.0	24.3	23.5	24.7	22.7	23.8	23.7	23.9	24.6	24.7	22.9	22.1	月平均 23.7
稼働率	76.8%	81.1%	78.5%	82.4%	75.8%	79.3%	79.1%	79.7%	82.1%	82.5%	76.4%	73.6%	月平均 78.9%

#### 2. 地域密着型通所介護事業(認知症型:定員12名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	130	144	126	126	130	128	131	144	108	114	110	102	1,493
実利用人数	17	16	15	14	13	13	15	15	14	13	12	11	月平均 14.0
1人あたり 月平均利用回数	7.6	9.0	8.4	9.0	10.0	9.8	8.7	9.6	7.7	8.8	9.2	9.3	月平均 8.9
契約者数	22	19	19	18	16	16	17	16	17	15	14	14	月平均 16.9
稼働日数	26	27	24	26	27	25	25	26	24	23	25	26	304
1日あたり 利用者	5.0	5.3	5.3	4.8	4.8	5.1	5.2	5.5	4.5	5.0	4.4	3.9	月平均 4.9
稼働率	41.7%	44.4%	43.8%	40.4%	40.1%	42.7%	43.7%	46.2%	37.5%	41.3%	36.7%	32.7%	月平均 40.9%

#### 3. 障害者デイサービス事業

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用回数	18	17	16	16	16	15	17	15	14	10	14	17	185
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	月平均 2.0
1人あたり 月平均利用回数	9.0	8.5	8.0	8.0	8.0	7.5	8.5	7.5	7.0	5.0	7.0	8.5	月平均 7.7
契約者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	月平均 3.0
実施日数(日)	26	27	24	26	27	25	25	26	24	23	25	26	304
1日あたり 利用者数	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.4	0.6	0.7	月平均 0.6



(参考) 中央デイサービスセンター全体(介護保険+障害デイ)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	747	818	707	785	760	738	741	781	713	693	697	693	8,873
実利用人数	105	102	102	102	98	97	101	101	100	100	97	91	月平均 99.7
1人あたり 月平均利用回数	7.1	8.0	6.9	7.7	7.8	7.6	7.3	7.7	7.1	6.9	7.2	7.6	月平均 7.4
契約者数	125	119	120	117	113	114	112	109	113	115	114	112	月平均 115.3
稼働日数	26	27	24	26	27	25	25	26	24	23	25	26	304
1日あたり 利用者数	28.7	30.3	29.5	30.2	28.1	29.5	29.6	30.0	29.7	30.1	27.9	26.7	月平均 29.2
稼働率(%)	68.4%	72.1%	70.1%	71.9%	67.0%	70.3%	70.6%	71.5%	70.7%	71.7%	66.4%	63.5%	月平均 69.5%

#### 4. 指定管理事業

福島市指定管理者制度により協定を締結し、福島市中央デイサービスセンターの指定管理者として、施設の維持管理に関する業務を行った。

- ①給排水衛生設備 ②電気・ガス・空調設備一式 ③備品一式

### ■飯野デイサービスセンター

#### 【事業実施の概要】

利用者の閉じこもりの予防及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の援助や介護、機能訓練等を行った。

上半期の実績が前年度を若干下回っていたが、下半期は利用者の減少はみられたものの、一人当たりの利用回数が増加したことにより、結果的には前年度同様の稼働率であった。

(昨年度稼働率80.2%、今年度稼働率80.1%)

#### 1. 通所介護事業(一般型:定員25名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	528	554	509	542	519	495	561	537	485	463	493	506	6,192
実利用人数	67	71	72	68	70	67	69	68	67	66	67	66	月平均 68.2
1人あたり 月平均利用回数	7.9	7.8	7.1	8	7.4	7.4	8.1	7.9	7.2	7.0	7.4	7.7	月平均 7.6
契約者数	78	78	79	79	77	73	74	74	74	75	75	74	月平均 75.8
稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309
1日あたり 利用者数	20.3	20.5	20.4	20.1	19.2	19.8	20.8	20.7	20.2	19.3	19.7	19.5	月平均 20.0
稼働率	81.2%	82.1%	81.4%	80.3%	76.9%	79.2%	83.1%	82.6%	80.8%	77.2%	78.9%	77.8%	月平均 80.1%

#### 2. 指定管理事業

福島市指定管理者制度により協定を締結し、福島市飯野デイサービスセンターの指定管理者として、施設の維持管理に関する業務を行った。

- ①給排水衛生設備 ②電気・ガス・空調設備一式 ③備品一式

## ■居宅介護支援事業所

### 【事業実施の概要】

利用者の心身状況、その他置かれている環境に応じて利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプランの作成を行った。福島市を中心とした市町村からの受託事業として要介護認定調査を行った。

#### 1. 居宅介護支援事業（介護予防支援事業を含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	299	288	281	288	284	290	288	297	291	288	285	285	月平均 289
稼働日数	21	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	241
契約者数	360	356	361	358	359	357	361	364	367	366	359	358	月平均 360.5
職員数	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	月平均 9.5
受持ち率(%)	80.7%	77.7%	75.8%	77.7%	76.7%	78.3%	77.7%	80.2%	78.5%	77.7%	76.9%	76.9%	月平均 77.9%

#### 2. 要介護認定調査（市受託事業）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	11	13	13	12	14	11	15	13	16	13	17	13	月平均 13.4

## ■中央地域包括支援センター（担当圏域内：第1・第2・第4・第5方部）

### 【事業実施の概要】

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員・認知症地域支援推進員に1名職員を増員し5名体制で(1)包括的支援事業(①総合相談事業、②権利擁護事業、③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、④在宅医療・介護連携支援事業、⑤生活支援体制整備事業、⑥認知症総合支援事業) (2)地域ケア会議の開催 (3)多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築 (4)指定介護予防支援事業 (5)第一号介護予防支援事業(6)地域づくりによる介護予防事業に取り組んだ。

⑤生活支援体制整備事業については、支え合い推進員を兼務で4名配置し、地域資源の発掘に取り組んだ。⑥認知症総合支援事業については、認知症サポーター養成講座を企業・団体からの依頼を受け3回開催した。(4)指定介護予防支援事業、(5)第一号介護予防支援事業については、前年度より491件増加した。(6)地域づくりによる介護予防事業については、いきいきもりん体操の立ち上げ支援を新たに6団体行い、担当地区内では現在14団体となっている。

#### 1. 要支援1・2の認定者の状況把握数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2 把握人数	10	36	20	14	13	15	28	25	18	15	11	36	241

#### 2. 介護予防サービス計画の作成件数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数(a)	143	164	163	153	143	148	158	169	161	169	160	147	1,878
委託件数	73	63	65	72	73	72	69	69	72	73	70	62	833
合計	216	227	228	225	216	220	227	238	233	242	230	209	2,711
包括職員数(b)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	月平均 5.0
一人当たりの担当 件数(a)／(b)	28.6	32.8	35.6	30.6	28.6	29.6	31.6	33.8	32.2	33.8	32.0	29.4	月平均 31.6

### 3. その他事業

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防教室 開催回数	5	10	13	8	18	3	3	10	4	1	5	0	80
介護予防プラン 作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所者数	6	2	7	13	0	1	1	1	2	1	16	4	54
電話相談	43	41	50	45	28	43	19	15	27	35	49	49	444
訪 問	104	87	80	103	66	73	114	49	83	85	85	85	1,014

#### ○業務委託居宅介護支援事業所

福島市社会福祉協議会	アグリホーム指定居宅介護支援事業所	エルダーランド居宅介護支援事業所
よろこび介護支援センター	アニバーサリー指定居宅介護支援事業所	ニチイケアセンター南福島
あいの風 居宅介護支援事業所	ケアプランセンター小倉寺	ニチイケアセンター鎌田
居宅介護支援事業所 絆	ケアサポートせいふう 福島	ニチイケアセンター太平寺
指定居宅介護支援事業所ニコっと	ケアプランセンター らこぼ	しみずの里指定居宅介護支援事業所
居宅介護支援事業所シニアガーデン	南東北居宅介護支援事業所	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所
ライフ吉井田居宅介護支援事業所	ケアプランセンターあずま	ひかり指定居宅介護支援事業所
信夫の里 指定居宅介護支援事業所	スタイルハート居宅介護支援事業所	計 23 事業所

### ■立子山・飯野地域包括支援センター(担当圏域内：立子山・飯野方部)

#### 【事業実施の概要】

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員・認知症地域支援推進員の4名体制で、(1)包括的支援事業(①総合相談事業、②権利擁護事業、③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、④在宅医療・介護連携支援事業、⑤生活支援体制整備事業、⑥認知症総合支援事業) (2)地域ケア会議の開催 (3)多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築 (4)指定介護予防支援事業 (5)第一号介護予防支援事業(6)地域づくりによる介護予防事業に取り組んだ。

⑤生活支援体制整備事業については、全員が地域支え合い推進員を兼務し、飯野町と立子山の地域住民を主な対象者としたお宝探しを実践した。⑥認知症総合支援事業については、立子山3区サロンからの依頼を受け認知症サポーター養成講座を実施した。(6)地域づくりによる介護予防推進事業については、今年度も重点事業として取り組み、体力測定や出前講座を中心に支援を行った。現在、飯野町15団体(参加者総数281名)、立子山8団体(同108名)となっている。

#### 1. 要支援1・2の認定者の状況把握数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	4	6	9	8	8	7	5	6	5	4	5	8	75

#### 2. 介護予防サービス計画の作成件数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数(a)	78	82	87	89	92	94	92	91	89	89	87	87	1,057
委託件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	78	82	87	89	92	94	92	91	89	89	87	87	1,057
包括職員数(b)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	月平均 4.0
一人当たりの担当 件数(a)／(b)	19.5	20.5	21.8	22.3	23.0	23.5	23.0	22.8	22.3	22.3	21.8	21.8	月平均 22.0

### 3. その他事業

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防教室 開催回数	6	12	15	15	7	8	9	6	7	5	8	0	98
介護予防プラン 作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所者数	14	4	8	8	17	11	4	13	13	10	10	9	121
電話相談	21	9	13	31	35	28	32	40	49	67	60	84	469
訪 問	66	43	66	77	104	47	42	97	94	81	70	81	868

# 令和元年度 福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館 事業報告

## 1. 受託事業

福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館では、在宅身体障がい者の自立及び社会参加促進のため、次の事業を実施した。

### (1) デイサービス支援事業

脳卒中後遺症者等を対象に、医師の診察、理学療法士の指導による訓練器具を使用したの自主訓練及び他動訓練を行った。

・実施回数 44回 延利用人数 446名

### (2) デイサービス事業

在宅身体障がい者を対象に、創作的活動教室等および市民を対象としたボランティア入門講座を実施した。

No	事業名	実施回数	参加人数	内 容
1	史跡めぐり研修会	1	25	歴史や文化を学びながら、またレクリエーションを通し、相互の親睦と交流を図った。
2	将棋・オセロ大会	1	15	
3	吹矢教室	2	28	手指の機能回復訓練を兼ねるとともに、想像力を養い社会生活の向上を図った。
4	こもの作り教室	5	53	
5	手打ち蕎麦教室	2	18	
6	山野草教室	4	43	
7	障がい者ボランティア入門講習会（聴覚障がい者・要約筆記編）	0	0	開催中止（障がい者を支援するボランティア入門講座）
計		15	182	

### (3) 社会参加促進事業

市民を対象に身体障がい者を支援するボランティアの養成を実施した。

No	事業名	実施回数	参加人数	内 容
1	点字入門講習会	6	43	視覚障がい者を支援する点訳・音訳ボランティアを養成した。
2	点字講習会基礎課程	12	54	
3	点字学習指導員講習会	6	22	
4	音訳奉仕員養成講習会	6	78	
5	要約筆記者養成講習会	12	46	聴覚障がい者・中途失聴者等を支援する要約筆記者を養成した
計		42	243	

### (4) 手話通訳者設置事業

手話通訳者2名を福島市役所障がい福祉課へ出向させ、聴覚障がい者への手話通訳等の業務を実施した。

・通訳件数 827件

## 2. 指定管理者事業

福島市身体障がい者福祉センター腰の浜会館の指定管理者として、障がい者の福祉の増進を図るため次の事業を実施した。

- (1) 施設および設備の維持管理に関する業務を行った。
- (2) 利用団体代表者と利用団体連絡会を開催し施設利用等についての意見交換を行い、管理運営に反映させた。
  - ・開催日 令和元年8月1日(木)
  - ・参加者 15団体 15名
- (3) 腰の浜会館で実施している事業内容を広く市民に周知するとともに、身体障がい者への理解を深めていただくことを目的に、実施事業等の写真・作品展を開催した。
  - ・開催期間 令和元年11月1日(金)～11月30日(土)
  - ・参加者 576名
- (4) 災害、事故など緊急時の対応を円滑に行うため、会館利用者、町内会、隣接事業所、業務委託者、職員合同による消防訓練等を実施した。
  - ・部分消防訓練 令和元年8月31日(土) 参加者3名
  - ・総合消防訓練 令和元年10月24日(木) 参加者30名
  - ・部分消防訓練 令和2年3月19日(木) 参加者3名
- (5) 会議室等、施設の貸出を行った。

### ■団体貸出

区分	団体数			利用件数(件)			利用人数(人)		
	H30	R元	増減	H30	R元	増減	H30	R元	増減
障がい者団体	31	31	0	202	229	27	1,775	2,048	273
ボランティア団体	7	7	0	51	51	0	577	598	21
公的機関等	3	3	0	37	47	10	751	862	111
計	41	41	0	290	327	37	3,103	3,508	405

### ■市委託事業利用

区分	事業数			利用件数(件)			利用人数(人)		
	H30	R元	増減	H30	R元	増減	H30	R元	増減
ディサービス支援事業	1	1	0	44	44	0	1,162	1,088	△74
ディサービス事業	6	5	△1	18	14	△4	369	250	△119
社会参加促進事業	4	4	0	36	34	△2	454	311	△143
計	11	10	△1	98	92	△6	1,985	1,649	△336

総計	-	-	-	388	419	31	5,088	5,157	69
----	---	---	---	-----	-----	----	-------	-------	----

# 令和元年度 福島市飯野地域福祉センター事業報告

## 1. 指定管理者事業

福島市飯野地域福祉センターの指定管理者として、地域福祉推進の活動拠点として地域福祉の向上を図るため次の事業を実施した。

- (1) 施設および設備の維持管理に関する業務を行った。
- (2) 地域福祉の向上を図るための施設の提供を行った。

○集会施設（会議室・和室）の利用状況

区分	利用団体数（件）			利用人数（人）		
	R1	H30	増減	R1	H30	増減
4月	45	52	△7	681	868	△187
5月	34	41	△7	476	643	△167
6月	35	40	△5	517	681	△164
7月	35	33	2	473	472	1
8月	27	38	△11	369	599	△230
9月	26	34	△8	353	549	△196
10月	39	37	2	658	616	42
11月	35	40	△5	696	741	△45
12月	30	30	0	533	502	31
1月	33	32	1	571	465	106
2月	24	36	△12	332	563	△231
3月	26	42	△16	288	735	△447
合計	389	455	△66	5,947	7,434	△1,487

- (3) 施設内に団体活動等紹介コーナーを設置して、地域住民の自主的な地域福祉活動の支援を行った。
- (4) 地域団体等との協働により施設の環境美化等を促進し、安全で安心して利用できる施設運営を行った。

①環境美化の取り組み

- ・実施日：各月25日 延べ6日間ほか
- ・協力団体：地元町内会、長寿会、ライオンズクラブ等

②環境整備の取り組み

- ・デイサービス静養室南側へのグリーンカーテン設置（6月）

- (5) 施設の利用促進と地域福祉の向上を図るため、自主事業を行った。

○第13回「飯野つるし雛まつり」への参画

- ・飯野地域福祉センター内に、デイサービス利用者等が作成した「つるし雛」を施設内に飾り付け、地域と一体となって地域伝統の「つるし雛まつり」事業を支援した。
- ・実施期間：令和2年2月22日（土）～3月8日（日） 延べ16日間
- ・来場者数：139名

- (6) 施設の防火管理及び職員の防災教育を図るため、初期消火、通報連絡、避難誘導等を連携して行う総合的な消防訓練を実施した。
  - ・実施日（1回目）：令和元年11月21日（木）
  - ・実施日（2回目）：令和2年3月12日（木）